

〔4〕研究業績

1. 保健管理に関するもの

1-1) 学術論文

① プロシーディングズ（国際学会，国内学会）

1. 鷺池トミ子，前田真由美，大坪敬子，土橋時代，石井伸子，豊里英子：教職員を対象とした栄養教室の効果。CAMPUS HEALTH 九州 30：56-59，2000。
2. 森内拓治，中尾一彦，湯川幸一，石井伸子：職員脂質健診におけるLDLコレステロールの直接測定の意義。CAMPUS HEALTH，37(1)：409-411，2001。
3. 中尾一彦，大坪敬子，前田真由美，鷺池トミ子，中田朋子，湯川幸一，石井伸子：新入生肝機能異常者における血清レプチン値の検討。CAMPUS HEALTH，37(1)：483-486，2001。
4. 尾崎啓子，林田雅希；大学1年生の「不登校」に対する意識—レポート課題の分析から—。九州神経精神医学，47(1)：61，2001。
5. 林田雅希，鷺池トミ子，湯川幸一，石井伸子；新入生健診結果と休・退学，留年および卒業との関連性。第22回全国大学メンタルヘルス研究会報告書：81-83，2001。
6. 鷺池トミ子，前田真由美，大坪敬子，石井伸子，豊里英子：職員健診受検者における食生活の意識調査。長崎県総合公衆衛生研究会誌，33：8-9，2001。
7. 森内拓治，石井伸子，湯川幸一，手塚 博：職員健診における血液データの経年的推移。長崎県総合公衆衛生研究会誌，33：12-13，2001。

2-1) 学会発表

1. 鷺池トミ子，前田真由美，大坪敬子，土橋時代，石井伸子，豊里英子：教職員を対象とした栄養教室の効果。第30回九州地区大学保健管理研究協議会，2000，08，24-25，福岡。
2. 森内拓治，中尾一彦，湯川幸一，石井伸子：職員脂質健診におけるLDLコレステロールの直接測定の意味。第38回全国大学保健管理研究集会，2000，10，18-19，神戸。
3. 中尾一彦，大坪敬子，前田真由美，鷺池トミ子，中田朋子，湯川幸一，石井伸子：新入生肝機能異常者における血清レプチン値の検討。第38回全国大学保健管理研究集会，2000，10，18-19，神戸。
4. 尾崎啓子，林田雅希：大学1年生の「不登校」に対する意識—レポート課題の分析から—。第53回九州精神神経学会，2000，10，19-20，長崎。
5. 林田雅希，鷺池トミ子，湯川幸一，石井伸子：新入生健診結果と休・退学，留年および卒業との関連性。第22回全国大学メンタルヘルス研究会，2001，01，29-30，名古屋。
6. 鷺池トミ子，前田真由美，大坪敬子，石井伸子，豊里英子：職員健診受検者における食生活の意識調査。長崎県総合公衆衛生研究会，2001，03，16，長崎。
7. 森内拓治，石井伸子，湯川幸一，手塚 博：職員健診における血液データの経年的推移。長崎県総合公衆衛生研究会，2001，03，16，長崎。

2. その他の研究

2-1) 著書 (教科書, 専門書)

1. 中尾一彦, 江口勝美, 石井伸子. ヒト肝癌細胞 (HuH-7) における TGF- β 1 によるアポトーシス実行機構の検討. 消化器疾患における感染と免疫の分子生物学 (小俣政男 監修), アークメディア, 東京, 102-105, 2000.
2. 林田雅希, 中根允文; 催眠鎮静薬・抗不安薬. 新・治療薬便覧2001 (矢崎義雄 監修), メディカルレビュー社, 大阪, 18-20, 2001.
3. 林田雅希, 中根允文; 抗精神病薬・抗うつ薬. 新・治療薬便覧2001 (矢崎義雄 監修), メディカルレビュー社, 大阪, 33-36, 2001.

2-2) 学術論文

① 総説・解説

1. 中田恵輔, 中尾一彦, 江口勝美: 肝癌の遺伝子治療. 生物物理化学, 44: 109-113, 2000.

② 原著

1. K. Hamasaki, M. Daikoku, Y. Kajiya, K. Nakao, Y. Kato, K. Nakata, K. Eguchi: Effects of naturally occurring mutations in hepatitis B virus core promoter on transcriptional activity. Hepatol Res 16: 163-169, 2000.
2. Y. Kato, K. Nakao, K. Hamasaki, H. Kato, K. Nakata, Y. Kusumoto, K. Eguchi: Spontaneous loss of hepatitis B surface antigen in chronic carriers, based on a long-term follow-up study in Goto Islands, Japan. J Gastroenterol 35(3): 201-205, 2000.
3. A. Saeki, M. Yoneda, M. Degawa, T. Arima, K. Hamasaki, K. Nakao, Y. Kato, K. Nakata, Y. Hirakawa, K. Eguchi: Toxic shock-like syndrome caused by T serotype B3264 streptococcus. Internal Med 39(3): 266-269, 2000,
4. K. Iseki, K. Nakao, K. Nakata, Y. Shima, K. Hamasaki, Y. Kato, N. Ishii, K. Eguchi: Diverse regulations of albumin gene expression by hepatocyte growth factor in HepG2 human hepatoma cells and primary culture of rat hepatocytes. Int J Oncol 16(6): 1141-1145, 2000.
5. K. Nakata, K. Nakao, T. Morikawa, K. Inokuchi, K. Hamasaki, S. Tsuruta, Y. Kato, H. Yatsuhasi, Y. Kusumoto, N. Ishii, K. Eguchi: Attenuation of responsiveness to interferon- α treatment by preceded overactivation of interferon-mediated pathway in patients chronically infected by hepatitis C virus. Acta Med Nagasaki 45: 15-19, 2000.
6. 浦田秀子, 田原靖昭, 西山久美子, 福山由美子, 綱分憲明, 門司和彦, 湯川幸一: 成人女性における身長と体重から計算した各種肥満度の妥当性—水中体重秤量法を外的基準として—. 日本公衆衛生雑誌, 47(8): 621-629, 2000.
7. 岩永 洋, 加治屋勇二, 大久保和昭, 宮副誠司, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美. ラミブジン抵抗性 B 型肝炎ウイルスの出現後に劇症化した B 型慢性肝炎の 1 例. 肝臓, 41(9): 660-664, 2000.

2-3) 学会発表

1. 大久保和昭, 市川辰樹, 加治屋勇二, 東眞一郎, 武田宜士, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 鳥山 寛, 江口勝美: 急性膵炎を発症した続発性アミロイドーシスの一部検例. 第75回日本消化器病学会九州支部例会, 2000, 03. 31-04. 01, 鹿児島.
2. 加治屋勇二, 濱崎圭輔, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美, 中尾一彦, 石井伸子: B型慢性肝疾患における HBV Core promoter および Precore 領域の解析. 第97回日本内科学会講演会, 2000, 04. 06-08, 京都.
3. 市川辰樹, 武田宜士, 加治屋勇二, 大久保和昭, 東眞一郎, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: 経口投与可能な Geranylgeranylacetone による抗ウイルス蛋白の誘導. 第86回日本消化器病学会総会, 2000, 04. 20-22, 新潟.
4. 中尾一彦, 中田恵輔: Interferon stimulated gene factor3 (ISGF3) による B型肝炎ウイルス Enhancer-1 転写活性の制御. 第86回日本消化器病学会総会, 2000, 04. 20-22, 新潟.
5. 山本匡介, 加藤有史, 石川博基, 濱崎圭輔, 中田恵輔, 江口勝美, 中尾一彦: 五島列島 T町での HBV キャリアの自然経過. 第38回九州慢性肝炎研究会, 2000, 06. 2, 福岡.
6. 沖田 極, 加治屋勇二, 濱崎圭輔, 大久保和昭, 中尾一彦, 東眞一郎, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: 無症候性 HBV キャリアからの肝炎発症例におけるウイルス遺伝子の経時的変化についての検討. 第36回日本肝臓学会総会, 2000, 06. 08-09, 福岡.
7. 武田宜士, 市川辰樹, 阿比留正剛, 中川祐一, 宮副誠司, 柳 謙二, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: 内因性イソプレノイド, Geranylgeraniol の HuH-7 肝癌培養細胞に対するアポトーシスの誘導. 第36回日本肝臓学会総会, 2000, 06. 08-09, 福岡.
8. 白石裕一, 市川辰樹, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: プロテイン C 欠損症による門脈, 上腸間膜静脈, 脾静脈血栓症の一例. 第250回日本内科学会九州地方会, 2000, 08. 19, 鹿児島.
9. 中川祐一, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: 肝細胞癌における Survivin の発現の検討. 第2回九州肝癌研究会, 2000, 09. 3, 福岡.
10. 市川辰樹, 中尾一彦, 武田宜士, 加治屋勇二, 大久保和昭, 東眞一郎, 石川博基, 濱崎圭輔, 加藤有史, 中田恵輔, 石井伸子, 江口勝美: Interferon- α による 2'5'OAS 遺伝子発現誘導に及ぼす Interleukin-1 β の影響. 第4回日本肝臓学会大会, 2000, 10. 25-26, 神戸.
11. 大久保和昭, 阿比留正剛, 重野賢也, 中川祐一, 宮副誠司, 柳 謙二, 佐伯 哲, 石川博基, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: HBV 関連肝癌の予後に関する臨床的検討. 第4回日本肝臓学会大会, 2000, 10. 25-26, 神戸.
12. 岩永 洋, 加治屋勇二, 大久保和昭, 市川辰樹, 東眞一郎, 石川博基, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: ラミブジン抵抗性 B型肝炎ウイルスの出現後に劇症化した B型慢性肝炎の 1 例. 第76回日本消化器病学会九州支部例会, 2000, 12. 08-09, 長崎.
13. 坂本久男, 中川祐一, 佐伯 哲, 柳 謙二, 阿比留正剛, 重野賢也, 武田宜士, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美, 矢永勝彦, 鳥山 寛: 腸管出血性大腸菌 O-157 感染を契機として肝不全に至った肝硬変症の一例. 第76回日本消化器病学会九州支部例会, 2000, 12.

08-09, 長崎.

14. 有富朋礼, 濱崎圭輔, 中尾一彦, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美: 肝硬変における肝予備能とQTc時間との関係. 第76回日本消化器病学会九州支部例会, 2000. 12. 08-09, 長崎.
15. 川俣洋生, 玉田陽子, 坂本美由紀, 林 稔展, 中尾一彦, 永山雄二, 中田恵輔, 石井伸子: アデノウイルスベクター導入効率に及ぼすキトサンの影響. 第15回長崎DDS研究会, 2000, 12. 15, 長崎.
16. 柳 謙二, 濱崎圭輔, 加藤有史, 中田恵輔, 江口勝美, 中尾一彦, 川原康弘, 田丸直江, 林徳眞吉: 骨盤内転移をきたした肝細胞癌の一例. 第252回日本内科学会九州地方会, 2001, 02. 03, 福岡.